

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

年末年始はとても寒い日が続きましたが、最近はわりと過ごしやすいような気がしています。それでも平年並みだそうです。12月が寒すぎたのですね。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

今年も1泊2日の短い帰省をしてきました。大阪に戻る道中、駅前のバス停に、なにやら困っている様子の若い中国人女性が3人いました。切符売り場の係の方に話しかけているのですが、取り合ってくれない様子。尋ねると「何か忘れたいけれど、何を言っているかわからない。警察に行って!」と不機嫌です。そもそも日本語がわからない彼女たちには警察の場所もわからないはず。

おせっかい魂に火が付き、「Did you forget something?」と言ってみましたが通じず、iPhoneの翻訳機能を使って、「忘れた?(忘了吗?)」と聞きました。かたことの日本語と身振り手振りで、どうやら「大三島からバスにのって2時40分にここについた。」ことが判明。「これ」と、財布を指さします。「財布(钱包)?」と聞いたら、顔がぱっと明るくなって「うん!うん!!」とうなずき、「…ざいりゅうカード…」。それは、なんとしても見つけてあげなければ!

切符売り場の方に状況を説明したのですが、「わたしにはわからない」の一点張り。日本語同士でも、お互いがわかり合おうとしなければ通じないですね。「どこに聞いたらわかりますか?」といったら、ようやくバス会社の電話番号をおしえてくれました。

営業所に電話し状況を伝えたところ、すぐに「あります」とのこと。どうやら運転手さんも、大三島から乗ってきた中国人の女の子たちが忘れたのだろうと把握していたようです。

この際、一緒に営業所へ行って最後まで見届けようと思ったのですが、「しゃちょーさん くる」と言います。その社長さんは日本人だということで、「〇〇バス営業所に財布がありますので取りにいってください。」とメモを書き、渡すようにと伝えて別れました。

iPhoneの翻訳機能で中国語が通じるのかどうか不安でしたが、想像通り、向こうもイマイチ理解できないらしく3人で相談して…という繰り返しでした。でも、時々お互いに「わかった!」と思える瞬間があって、そのときの胸がすくような爽快感は素晴らしかったです。

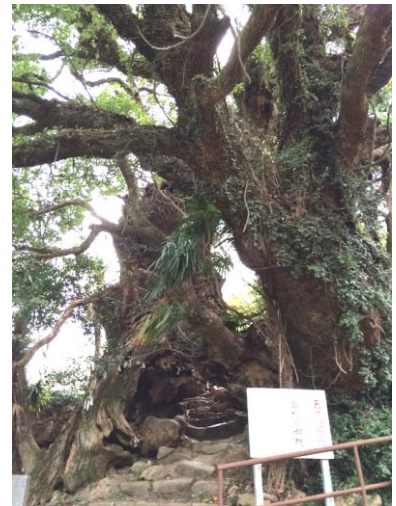
ほんの些細なことでも、他人と通じ合えるということは感動的なことなのだと思えたお正月でした。それに完璧には程遠いとはいえ、翻訳機能が手元にあるという文明の利器!すごいですね!

2015年もみなさまにとってミラクルで素敵な毎日が訪れますように。

本年も引き続きよろしくお願いいたします。



人もまばらな、大晦日の大山祇神社



生樹の御門と1年ぶりの再会



元旦の彩雲

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通1-1-2
TEL.06-6943-4560
FAX.06-6920-5311